

キワニスクラブが チャリティーバザー

子どもへの奉仕活動に取り組む大分キワニスクラブ(河上徹治会長)は23日、



掘り出し物を探す買い物客ら

大分市中央町のガレリア竹町ドーム広場でチャリティーバザーを開いた。今年で9回目。

メンバーらが持ち寄った洗剤やタオル、バッグなど計約300点が並んだ。定価の半額以下で、ほとんどが未使用品。50人以上の買い物客らでにぎわった。

同クラブは益金で絵本を購入し、県内の病院で闘病中の子どもにも贈る。タオルセット10点を買った臼杵市家野の無職足立英治さん(67)は「安く手に入っとうれしい。子どもたちは病気に負けることなく、気持ちを強く持つて頑張ってほしい」と話した。